

平成 29 年度第 2 回 ISO/TC46/SC4 国内委員会議事録

1. 日時：2018 年 1 月 24 日(水)15 時から 17 時
2. 場所：日本図書館協会会館 5 階会議室 2
3. 出席者：

委員	安形輝	亜細亜大学 (SC4 リーダ)
	宮澤彰	国立情報学研究所名誉教授
	五十嵐健一	慶應義塾大学
	大向一輝	国立情報学研究所
	大場高志	日本図書館協会
	長田孝治	株式会社ロゴヴィスタ
	奥田倫子	国立国会図書館
事務局	光富健一	情報科学技術協会

4. 配布資料：

平成 29 年度 ISO/TC46/SC4 国内委員会第一回委員会議事録

資料 1-1 ISO 22038 進捗状況報告

資料 1-2 ISO 20247 進捗状況報告

資料 2 平成 29 年度 ISO/TC46/SC4 投票報告

(平成 29 年 7 月 20 日～平成 30 年 1 月 24 日)

資料 3 平成 29 年度 ISO/TC46/SC4 審議案件

資料 4 平成 28 年度成果報告書目次

資料 5 TC46 リスポン総会案内

資料 6 平成 30 年度標準化テーマ調査票

5. 議題：

- 5-1) 前回議事録の確認と今回の議事録の作成者

前回の議事録を確認するとともに、今回の議事録作成は安形委員が担当する。

- 5-2) 平成 29 年度実施計画進捗状況報告

資料 1-1 に基づいてデジタルアーカイブ利活用のための標準化 (ISO 22038) の進捗状況について報告がなされた。NP 承認(10.99)が 3 月 13 日におり、SC9 総会において宮澤委員を主査として WG14 の設置が承認されたにも関わらず、SC9 事務局の作業遅延によって CD 投票まで進んでない。SC9 事務局への督促を複数回、行っている。WG14 において WD の回付と検討を行っている。12 月末をめどにコメントを求めたがコメントがな

かったため、再度コメントを求める予定である。また、今後の進行のために国際 WG14 に日本からメンバーを追加する予定である。

資料 1-2 に基づいてデジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子について報告された。DIS 投票が 2017 年 7 月 5 日に行われ承認され、ついたコメントに対応した上で FDIS 投票が 2017 年 11 月 1 日から 12 月 27 日に行われ、承認された。2018 年 1 月 17 日付に国際標準として出版されており、会合時点で ISO ストアにも並んでいた。

デジタルアーカイブ国際標準化活動のための環境整備について国内 SC4 委員会の活動が紹介された。

5-3) ISO/TC46/SC4 投票報告

前回会合から本日までに行われた ISO/TC46/SC4 に関する投票の報告が行われた。ePub 関連の CIB 投票は国内 JTC-1/SC34 からの要請に応じて TS ではなく国際標準化してほしい、という回答を行ったことが紹介された。また、最後 ePub に関する CIB 投票は長期保存用のメタデータを埋め込む案である。

5-4) ISO/TC46/SC4 投票審議案件

現在審議中の RFID に関する ISO/TS 28560-4:2014 について紹介された。この件についての担当委員は、メーリングリストで依頼済みである。

5-5) 2017 年度成果報告書

今年度の国内 TC46 全体の成果報告書案を 2018 年 2 月 2 日までに三菱総研に提出する必要があり、現在 TC46 幹事会を中心として作成中であることが紹介された。

5-6) TC46 リスボン総会

今年の TC46 総会と各 SC 総会が 2018 年 5 月 14 日から 18 日にかけてポルトガルのリスボンで開かれることが紹介された。SC4 では宮澤委員、安形委員が出席する予定である。国立国会図書館からもどの SC の委員になるかは不明であるが一人は出席可能かもしれない。

5-7) 平成 30 年度標準化テーマ調査票

資料 6 「平成 30 年度標準化テーマ調査票」に基づいて次年度から 3 年間の計画で申請するプロジェクトについて紹介された。

5-8) その他

デジタルアーカイブを検索するさいのローマ字に関する提案について検討を始めることが紹介された。

(以上)